

12月議会議案審議

採決結果 町長提出議案一覧

条 例： 3件
補 正 予 算： 9件
そ の 他： 3件
計 15件

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
議案第76号	条例	和水町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第77号	条例	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	〃
議案第78号	条例	和水町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	〃
議案第79号	補正予算	令和元年度 和水町一般会計補正予算（第5号）	〃
議案第80号	補正予算	令和元年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第81号	補正予算	令和元年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第82号	補正予算	令和元年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第83号	補正予算	令和元年度 和水町住宅用地造成事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第84号	補正予算	令和元年度 和水町簡易水道事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第85号	補正予算	令和元年度 和水町下水道事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第86号	補正予算	令和元年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第87号	補正予算	令和元年度 和水町病院事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第88号	その他	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	〃
議案第89号	その他	町道の路線廃止について	〃
議案第90号	その他	町道の路線認定について	〃

議員提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
		閉会中の継続審査について（総務文教常任委員会）	原案決定
		閉会中の継続調査について（各委員会）	〃

12月定例会 賛否一覧表

賛否が分かれた議案だけを掲載
○は賛成 ×は反対 -は欠席

議 案	議員名	荒木	白木	齊木	坂本	竹下	高木	秋丸	松村	庄山	池田	森	蒲池
		宏太	淳	幸男	敏彦	周三	洋一郎	要一	慶次	忠文	龍之介	潤一郎	恭一
議案第83号 補正予算	令和元年度 和水町住宅用地造成事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	×	-	○	×	○	※

※議長は可否同数または特別議決の時以外表決に参加しません。

討論

議案第79号 反対：池田議員 賛成：高木議員
議案第83号 反対：池田議員、秋丸議員 賛成：荒木議員、高木議員

陳情等の審査結果

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
271	令和元年10月3日	町道・岩線側溝改修に関する要望書	採択	厚生建設経済常任委員会
313	令和元年11月13日	国民健康保険財政への国庫負担割合を増やすことを求める陳情書	採択	配付
333	令和元年11月27日	スクールバス運行計画に対する要望書	採択	総務文教常任委員会

【継続審査分】

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
206	令和元年8月28日	教職員定数の改善及び義務教育に係る確実な財源保障をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書提出の要請について	継続	総務文教常任委員会

令和元年度 一般会計補正予算

令和元年
12月

定例議会
報告

1億2,428万4千円を追加!!

総額 77億2,666万4千円に

令和元年12月議会定例会は12月9日から13日までの5日間の会期で開催され、令和元年度補正予算など15議案（条例3件、補正予算9件、その他3件）が上程され、それぞれ可決された。

一般会計補正予算の主な内容は、住宅用地造成事業会計繰出金として3,855万4千円、東京2020オリンピック聖火リレー県負担金342万3千円、学校施設等不動産鑑定評価業務委託料257万4千円など。

債務負担行為補正は、令和2年度分として聖火リレーミニセレブレーション運営業務173万8千円、聖火リレーシャトルバス運行業務66万円、令和2年度から令和4年度の期間で三加和区域スクールバス運行業務7,476万9千円、菊水区域スクールバス運行業務8,049万6千円の限度額となっている。

10日には5名の議員が一般質問を行った。

一般会計・特別会計補正予算

会 計 名	補 正 額	総予算額
一般会計	1億2,428万4千円	77億2,666万4千円
国民健康保険事業会計	94万1千円	14億420万2千円
介護保険事業会計	2,784万4千円	15億7,205万8千円
特別養護老人ホーム事業会計	△44万8千円	5億1,671万9千円
住宅用地造成事業会計	3,855万4千円	5,684万4千円
簡易水道事業会計	60万3千円	6,521万5千円
下水道事業会計	51万1千円	7,117万4千円
後期高齢者医療事業会計	△9万1千円	1億5,841万円
病院事業会計	773万8千円	8億8,935万1千円

年頭の挨拶



迎春 2020

明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より町議会に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。年頭に当たり、町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、5月1日に新天皇が即位され、「令和」という新しい時代の幕が開けました。この時代が平和であることを心から願っております。

東日本で猛威を振った観測史上最強クラスの台風15号、19号により、多くの尊い人命が失われ、生活基盤に甚大な被害をもたらしました。今も復旧の最中にある方々が、一刻

も早く日常の生活に戻れますことを心より願っています。また、本町においては、年明け早々に和歌山県を震源とする震度6弱の地震が発生し、平成28年の熊本地震を思い起こさせ、不安に駆られます。

一方、明るいニュースもありました。本町(中林地区)出身である日本マラソンの父、箱根駅伝の創設者「金栗四三」氏の主人公としたNHK大河ドラマ「いだてん」の放送が一月から始まり、金栗四三ミュージアムや生家記念館には、町内外から多くの方々にご来館頂き、金栗氏の功績と和歌山が広く世に知られたところでした。

更には、本年5月7日に、2020東京オリンピックの聖火リレーが、

生活基盤も復興がなかなか進まず、今も多くの人が苦しんでおられ一日も早く日常生活に戻られますことを心よりお祈りします。

本町においては年明け早々と和歌山県を震源とする震度6弱の大地震に見舞われました。災害というのはいつどこで何が起きるか判らないことを肝に銘じ、普段からの準備がいかに必要か思い知らされました。

一方、明るい話題もあり、本町出身の日本マラソンの父「金栗四三」氏の主人公としたNHK大河ドラマ「いだてん」の放映が1月から始まり、金栗四三ミュージアムや生家記念館には町内外から多くの方々にご

来館いただきました。金栗氏を通じて和歌山県を広く宣伝することができたことはありがたいことでした。

町勢にあつては昨年人口が1万人を割り込み2町合併以降、約2割の人口が減少している状況であります。このような中、本年4月からはいよいよ菊水地区の4小学校が統合され、町内の学校は2中学校、2小学校となります。これから、学校跡地の活用が課題となります。

産業振興、住環境整備、少子化対策、集落等地域機能の維持など社会環境の変化やライフスタイルの多様性に対応するために、町として取り組むべき課題は山積しています。

町議会としても町民の皆様のご理解とご協力を得て、この難局を乗り切りたいと決意を新たにしています。

議会は、二元代表制の一翼として、町民の意思を町政に反映させる重要な役割を担っております。町民の皆様のご代表者として、その役割と責任の重さをしっかりと自覚し、邁進してまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様にとって、本年が、平穏で実りある一年になりますことを祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

和歌山県副議長
森 潤 一 郎

町議会としても町民の皆様のご理解とご協力を得て、この難局を乗り切りたいと決意を新たにしています。

結びに、町民の皆様にとって、本年が、平穏で実りある一年になりますことを祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

和歌山県副議長
森 潤 一 郎

議会議員視察研修報告

岐阜県坂祝町と滋賀県多賀町への行政視察研修

議会運営委員長 高木洋一郎

10月23日から10月25日の日程で、岐阜県坂祝町と滋賀県多賀町に、議員全員による行政視察研修を行った。

岐阜県加茂郡坂祝町は、人口8千3百人、面積13平方km、岐阜県南端に位置し、木曾川が流れる風光明媚な町である。又、三菱パジェロの一貫生産工場が立地しており、周辺自治体にも工場が多いことから人口の約1割が外国人とのこと。

坂祝町では、議会でのタブレット端末の活用と子育て支援アプリの活用について研修を行った。



研修では坂祝町議会議員全員で対応頂き、タブレットの操作方法などをご指導頂いた。タブレットは、ペーパーレスによる経費節減、議員間の情報共有を目的に平成25年に導入している。議案書、委員会資料、会議開催の通知やスケジュール管理などに活用されていた。もちろん本会議ではタブレットを持ち込み、資料閲覧や書き込みなども出来る。次に、子育て支援アプリについて研修した。子育て世代のスマートフォン普及率が9割を超えていることから、従来の子育てハンドブック配布に替えて、母子手帳アプリを導入している。アプリには、各種補助制度、母子の体調や成長の記録、出産育児に関する情報やアドバイス、育児日記など、多用途に活用されていた。県内では同

吉地尋常小学校跡から生家記念館までの区間で実施されます。これからも、和歌山県に足を運んで下さるよう諸策をもって誘客促進を図っていきたく思います。町勢では、合併時に約1万2千4百人であった人口が、令和元年10月末には約9千9百人となり、合併後13年で約2割減少している状況です。このような中、本年4月からはいよいよ菊水地区の4小学校が統合され、町内の学校は2中学校、2小学校となります。これから、学校跡地の活用が課題となります。産業振興、住環境整備、少子化対策、集落等地域機能の維持など社会環境の変化やライフスタイルの多様性に対応するために、町として取り組むべき課題は山積しています。

町議会としても町民の皆様のご理解とご協力を得て、この難局を乗り切りたいと決意を新たにしています。議会は、二元代表制の一翼として、町民の意思を町政に反映させる重要な役割を担っております。町民の皆様のご代表者として、その役割と責任の重さをしっかりと自覚し、邁進してまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、町民の皆様にとって、本年が、平穏で実りある一年になりますことを祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

様のアプリを菊池市、水俣市、長洲町が導入している。翌24日は、滋賀県犬山郡多賀町を視察した。多賀町は、人口約7千6百人、面積136平方kmで約86%が森林の町である。山間部では廃村した集落が多く、琵琶湖の東部から広がる平野部に住家が形成されていた。多賀町では、子ども議会と獣害対策について研修した。多賀町子ども議会は、将来を担う子ども達の疑問を質問したり、提案する機会を設けて町政や議会の仕組みを理解し、身近に感じてもらうために実施されており、今年で10年目を迎えている。子ども達は総合学習の時間に地域課題を見つけ、子ども議会に臨んでいる。近年の実績は、中学校吹奏楽部の楽器の補充、小中学校への冷暖房の導入等が挙げられた。又、子ども達は、地域に対して自分達に何が出来るかを考えるような意識が芽生えているとのことだった。所管は学校教育課で約4カ月間、2小学校1中学校との調整や質問の集約、各課への質問配分など、教育委員会と学校の協力なくしてはできない事業である。次に、獣害対策を研修した。町域の86%の森林に棲むサル、イノシシ、ニホンジカ、ハクビシン等が集落に出没することから、山間部と平野部の境界

に延べ31.6kmにわたる防護柵が設置されている。防護柵は高さ約2m、更に上部にはサル対策として50cmの電気柵が設置されており、集落や土地改良区で維持管理を行っている。又、小規模農地の防護柵設置に対しても補助金を交付している。猟友会(19名)による過去5年間の年平均駆除数は、サル28頭、イノシシ65頭、ニホンジカ684頭。しかし、猟友会の高齢化と会員減少から、集落自衛組織の育成に力を入れている。2つの町を研修して感じたことは、インターネット・コミュニティ・テクノロジー(ICT)を活用した行政の効率化と迅速性である。ペーパーレスと事務作業の軽減、情報の迅速な伝達と記録保存など活用の幅が広い。本町でも導入を検討する時期にあると強く感じた。また、子ども議会は教育的側面と大人が気づかない課題の掘り起こしに役立っていることを感じた。獣害対策はどの町でも大きな課題となっており、行政と住民が協力して、対策に当たることが重要であると感じた。



ズバリ!聞きます 一般質問

12月定例会では5名の議員が一般質問を行いました。主な質問事項は次のとおりです。

齊木 幸男議員 8P

- ・ふるさと納税、昨年は744万円 本年は11月時点で3,300万円 令和2年の目標額は2億円では。
- ・子育て、女性の活躍できる和日は。

池田 龍之介議員 6P

- ・“有言実行という言葉はあるが、有言不実行という言葉はない”やる意思がないと暴露した証し!!

高木 洋一郎議員 7P

- ・金栗四三生家記念館の周辺整備について
- ・家庭内保育者への経済支援について
- ・国指定史跡田中城跡の環境整備について

森 潤一郎議員 7P

- ・まちづくりにおける高齢者交通対策について

*一般質問の記事は、質問した議員が600字程度に要約したものです。原文を尊重していますが、一部編集しています。
 *発言が「～である。」調で記載していますが、質問・答弁は丁寧語で発言されています。
 *会議録は町の公式ホームページで閲覧できます。



高木洋一郎議員

・金栗四三生家記念館の周辺整備について
 ・家庭内保育者への経済支援について
 ・国指定史跡田中城跡の環境整備について

問 金栗四三生家記念館に「金栗翁の銅像と黎明の鐘」の設置及び「体力・気力・努力の記念碑」の移設により、ランナーの聖地にふさわしい整備を。

答 (町長) 生家の保存整備にかかる経費の優先順位を検討したい。

答 (社会教育課長 黎明の鐘と記念碑については、生家検討委員会でも意見が出ている。しかし、黎明の鐘は騒音問題が懸念され、記念碑の移設は経費の捻出などの課題がある。銅像については具体的な検討はしていない。

提案 クラウドファンディング型ふるさと納税を活用して、財源を集める方法もあるので、検討してはどうか。

問 2歳児未満の家庭内保育者への経済支援の考えはあるか。

答 (町長) 保育料無償化により経

済的負担が軽減され、子育て環境が改善された。又、現時点では入所希望数は入所定員に対して余裕があり、待機児童は発生しない見込みである。

問 待機児童が発生しない状況ならば、家庭内保育者に対する支援を更に充実してもらいたい。

答 (社会教育課長) 杉の高木は年に数本ずつ伐採している。又、本丸の建物柱跡のツゲは課題として受け止める。

提案 土砂流出や崩落を防止する観木の植栽を提案する。又、建物柱跡は、ツゲに替えて木柱かコンクリート柱に替えることを提案する。



池田龍之介議員

“有言実行という言葉はあるが、有言不実行という言葉はない”やる意思がないと暴露した証し!!

問 和永町と八女市の境、今看板が立っている白木矢部谷峠トンネルのことについて、昨年9月定例会に於いて地元を巻き込んだ活動をしましょうと、町長も賛同され、地元区長さん方に協力をお願いしたい旨答弁されているが、未だ、地元で期成会ができたとは聞いていない。区長さん方には、話をされたか。

答 (町長) 区長さん方には話していない。地元議員さんと区長さん方と会合を持って頂き、組織作りを議員さんにはお話をした。

問 それじゃ投げやりではないか。何故町長は動かないのか。町長自らトップリーダーとして動かなければ、この様な大事業は前には進まない。執行部、議会、地元、その三位一体のワンチームを作り上げ、継続は力なり、実現するまで力を注ぎこまなければ成し得ず、言うは易し行い難し。ある所は、10年間毎回回陳情に行かれ、やっと事業ができたという事例もあるか。

ると、ある代議士の先生にお聞きした。やはりトップが、汗をかかないと大型事業はなかなか前には進まない。トップリーダーとして、人と云うのは「得手不得手」があり、苦手だからと逃げられる先生が多いと聞く、だから、国会陳情だけではなく、霞が関の方にも行って欲しい。

答 (町長) しっかりと心して、霞が関にも足を運びたい。

要望 宅造計画について、学校跡地じゃなく、福祉センター跡地なのか、町長は議員の時には、きくすの里裏の山を買い増し宅造することに賛成をしているではないか。それを差し置いて、今回は福祉センター跡地に3億掛けて、1区画1,800万円、1,500万円の土地を買って家は建たない。800万、1,000万円やるから来てくださいというのと一緒、余りにもひどい計画ではないか。町長、再考をお願いする。



森潤一郎議員

まちづくりにおける高齢者交通対策について

問 町直営「あいのりくん」の運行実態と問題点を問う。

答 (町長) 平成29年10月より運行を開始し、令和元年11月現在で利用登録者数が614人である。又、令和元年度の利用件数は11月時点で菊水2,201件、三加和461件、計2,662件と大きく増えた。最も利用が多いのは町立病院である。

問 「あいのりくん」は予約業務を町が行い、送迎をタクシー事業者が行う方法で運行している。予約システムを活用することにより双方の連携を図っており、現在まで効果的に運行することができている状況だ。今後引き続き利用啓発を行い、利用促進に努めていきたい。

問 高齢者の交通移動手段の変化が大きく求められようとしている現在、様々な移動手段のスムーズな組み合わせを検討したことはあるか問う。

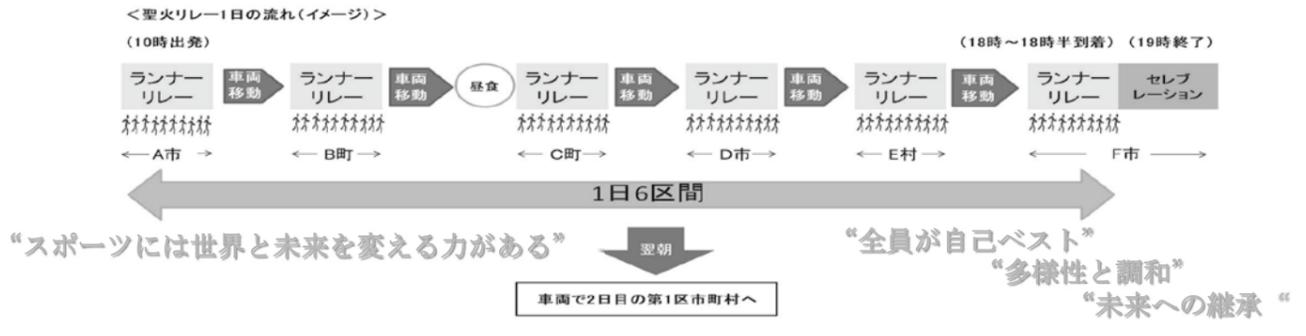
答 (町長) 現在、国土交通省が日本版マースの実現に向けて将来像や今後の取組み、方向性等の検討を進めている状況だ。

問 交通安全問題上の高齢者の免許証自主返納と自宅から病院や店舗まで歩くには遠い「ラストワンマイル」問題との兼ね合いは今後避けて通れない課題である。この問題の町長の考えを聞きたい。

答 (町長) 高齢者免許証の自主返納者数は玉名警察管内で平成30年度で345名と増大している。自宅から病院や店舗までの移動手段の問題については「あいのりくん」のPRに努め、施策の充実に努めてまいりたい。

東京2020オリンピック 聖火リレー 和水を駆けぬけます!!

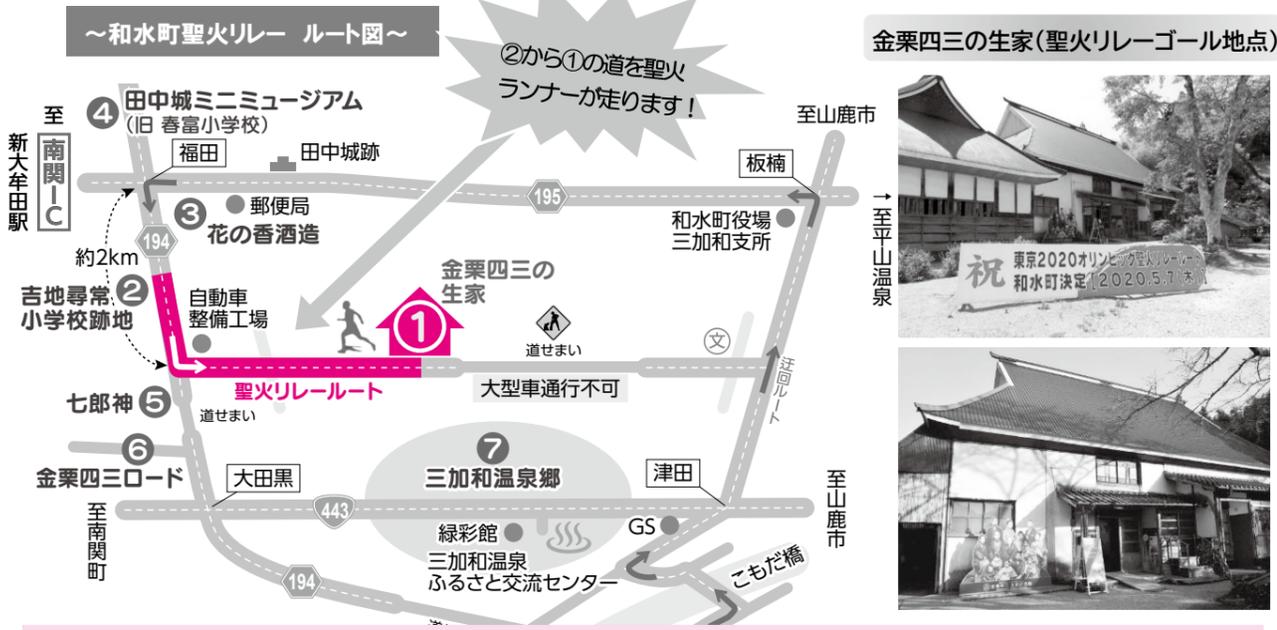
“希望の道をつなごう”をコンセプトにした聖火リレーは、2020年3月26日福島県をスタートして全国を回り、約4か月かけて7月24日の東京オリンピックのゴールを目指します。熊本県は2020年5月6日・7日の2日間でリレーされ、和水町は**5月7日(木)**に吉地尋常小学校跡地前を出発し、金栗四三生家をゴールとする約1.2kmを7名で実施されます。



- 【聖火リレーのイメージ】**
- ・1日あたり6区間程度で聖火をリレー。
 - ・ランナーは1人あたり約200mを走り、1日あたり80~90人
 - ・隊列は車両約20~30台、スタッフ：200~300人

1964年の東京オリンピックと大きく変わった点

- ◎1つの聖火で日本全国をリレーする
- ◎県内のランナー数が86人→160人へと約2倍
- ◎反面、県内の走行距離は164km→約32kmへ
- ◎1日ごとに到着イベントが実施される 等です。



～ 後記 ～
マラソンの父・金栗四三氏が和水町出身という事、和水町でオリンピックの聖火リレーが行われる事を誇りに思います。
56年ぶりに日本にやって来る聖火の炎を近くでご覧頂ける、又何らかの形でオリンピックという大きなイベントに携われるまたとない機会です。一人でも多くの方にご参加頂き、ご自身の一生の思い出の一つにされませんか？ご都合のつかれる方は是非、上図のルートまで足を運んで頂き、東京オリンピック聖火ランナーに温かい声援を送り、共に参加しましょう！！
竹下周三

ズバリ!聞きます

問 ふるさと納税の目標額は。
答 (町長) 本年度の目標額は1億円に設定。3月31日までに達成できると全力で取り組む。

問 日平区の牧野小田線全線開通後、県道への変更、歩道やガードレールの整備、交通安全対策は。
答 (町長) 来年度は日平区で落石防護柵工事を行う。開通後は住民の意見を聞き警察への制限速度の指定要望、白線の引き直しや交通安全会議を行う予定。県道への変更は同じ考えを持っている。

問 子育て広場は十周年になる。イベント等を開催する考えは。
答 (町長) 開催予定は無い。

問 平成22年開所から子どもの利用は一日平均9人を維持。少子高齢化の中この数字を維持しているのは素晴らしい。今後も子育て広場の明るく清潔な環境を維持していく事が大切と考えるが。
答 (町長) 要望書が出ている。私の方にも決裁が回ってきた。

問 「過疎地を更に過疎化するようなスクールバスの運行をして、子どもや保護者に更に負担をかけるつもりなのか」と町民の声が聞こえて来る気がする。町長に最新の町民の声は届いているか。
答 (町長) 要望書が出ている。私の方にも決裁が回ってきた。

問 運動会等のイベントの際は駐車場はどのように対応する考えか。
答 (町長) 学校教育課長220台以上確保できている。

問 学校教育課長見直し等の対応はできるか。
答 (町長) 環境が一番だと思う。菊水小学校の駐車場は何台か確保できている。

問 運動会等のイベントの際は駐車場はどのように対応する考えか。
答 (町長) 学校教育課長220台以上確保できている。

問 スクールバスのコースや乗降場所等の見直しはできるのか。
答 (町長) 学校教育課長見直し等の対応はできる。

問 「過疎地を更に過疎化するようなスクールバスの運行をして、子どもや保護者に更に負担をかけるつもりなのか」と町民の声が聞こえて来る気がする。町長に最新の町民の声は届いているか。
答 (町長) 要望書が出ている。私の方にも決裁が回ってきた。



**ふるさと納税、昨年は744万円
本年は11月時点で3,300万円
令和2年の目標額は2億円では。
子育て、女性の活躍できる和水は。**

問 宅造成分譲計画の現状と今後の見通しを問う
答 (町長) 子育て世代を対象にしている。分譲の条件は明確にしている。

問 19区画を分譲する計画となっているが、投資総額はいくらか。
答 (まちづくり推進課長) 解体費用を除き2億1,600万円。

問 今回は1区画1,136万円の費用で販売価格が462万円と試算されている。差引、町の実質負担額は、1区画674万円になる。グリーンビレッジ平野は、約300万円で済んでいる。比較すると2.2倍の格差だ。過剰投資とと思うが。
答 (町長) 物価が値上がりしている。10年前と比較するのはいいかなものか。

問 今まで町内に建てられた戸建て住宅には、補助金など優遇措置がない。例えば(給水設備なしの地域)一世帯に300万円を町が補助する。
答 (副町長) 水道は住宅地造成と別に切り離して考えてもおかしくない。

提言 人口減少歯止め策として、町内に1軒でも多くの住宅建設を促進する事が究極の目的であれば、最大効率の成果が見込める施策を見出す努力をすべきだ。議会と執行部がもう少し議論を深めていくことを切望する。

問 政策の方向性は間違っていないと思うが、町民の大切な血税のかけ過ぎだ。今の場所での計画の見直しを検討する必要があると考える。
答 (副町長) 水道は住宅地造成と別に切り離して考えてもおかしくない。

問 子育て世代を対象にしている。分譲の条件は明確にしているか。
答 (町長) 子育て世代を対象にしている。分譲の条件は明確にしている。

問 19区画を分譲する計画となっているが、投資総額はいくらか。
答 (まちづくり推進課長) 解体費用を除き2億1,600万円。

問 今回は1区画1,136万円の費用で販売価格が462万円と試算されている。差引、町の実質負担額は、1区画674万円になる。グリーンビレッジ平野は、約300万円で済んでいる。比較すると2.2倍の格差だ。過剰投資とと思うが。
答 (町長) 物価が値上がりしている。10年前と比較するのはいいかなものか。

問 今まで町内に建てられた戸建て住宅には、補助金など優遇措置がない。例えば(給水設備なしの地域)一世帯に300万円を町が補助する。
答 (副町長) 水道は住宅地造成と別に切り離して考えてもおかしくない。

提言 人口減少歯止め策として、町内に1軒でも多くの住宅建設を促進する事が究極の目的であれば、最大効率の成果が見込める施策を見出す努力をすべきだ。議会と執行部がもう少し議論を深めていくことを切望する。

問 政策の方向性は間違っていないと思うが、町民の大切な血税のかけ過ぎだ。今の場所での計画の見直しを検討する必要があると考える。
答 (副町長) 水道は住宅地造成と別に切り離して考えてもおかしくない。



**今後の住宅促進政策に
問題点を残す！
一般住宅建設への優遇格差を是正する施策の取
組が必要となる**